

# 危険

## ごみ収集車の 車両火災が多発しています

昨年11月、12月に、ごみ収集車の車両火災事故が3件も起きました。中身が入ったまま「燃えないごみ」として出されたガスカートリッジ缶・スプレー缶が原因とみられています。

幸いこれらの事故による負傷者は出ませんでした。人命にかかわる重大事故につながるおそれがあります。毎年、同様の事故が起きており、歩行者や付近の住民、収集員にとってはたいへん危険です。

また以前、清掃工場においても、中身が入ったままのガスカートリッジ缶・スプレー缶が原因とみられる、破碎施設の爆発事故が発生したことがありました。このときは、ごみの処理に遅れが生じ、ばく大な修繕費用もかかりました。

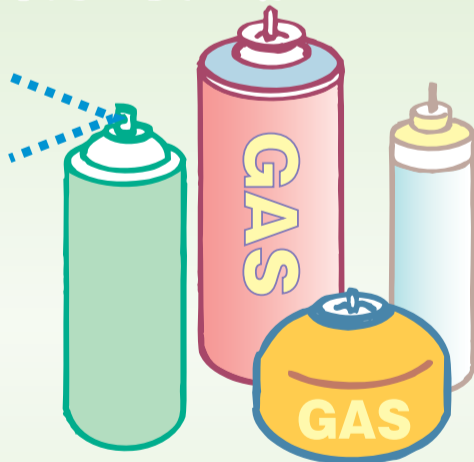
このようなことは、皆さんひとりひとりがごみ出しのルールを守っていただくことにより防ぐことができます。皆さんのご協力をお願いします。



### 守ってください

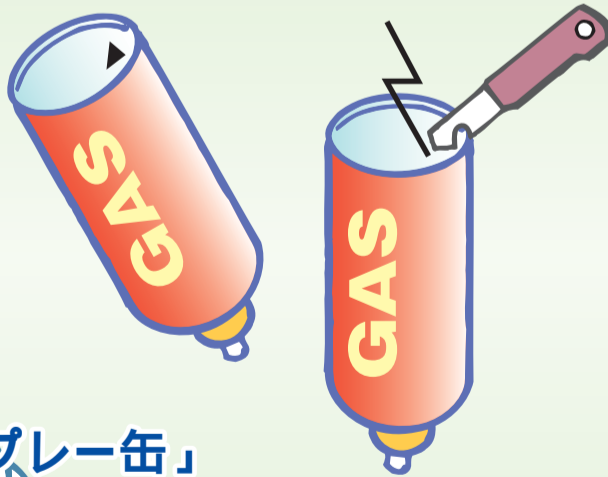
### ガスカートリッジ缶・スプレー缶の出し方

中身を使い切る



穴を開ける

(風通しの良い、火の気のないところで、穴を開けてください)



別の袋に入れ、袋に「スプレー缶」または「ガスカートリッジ缶」と書き、燃えないごみの日に出す



必ず穴を開けてから  
出しましょう

問合せ

ごみ減量対策課

☎042(346)9535